

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公開番号】特開2015-57215(P2015-57215A)
 【公開日】平成27年3月26日(2015.3.26)
 【年通号数】公開・登録公報2015-020
 【出願番号】特願2014-260559(P2014-260559)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1識別情報の可変表示または第2識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

未だ開始されていない第1識別情報の可変表示について、保留記憶として記憶する第1保留記憶手段と、

未だ開始されていない第2識別情報の可変表示について、保留記憶として記憶する第2保留記憶手段と、

第1識別情報の可変表示または第2識別情報の可変表示を開始するときに、前記第1保留記憶手段または前記第2保留記憶手段に記憶された保留記憶に対応したデータを共通記憶領域に記憶させる記憶制御手段と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段とを備え、

前記決定手段は、第1識別情報の可変表示を行う場合と第2識別情報の可変表示を行う場合とで、同じ割合により前記有利状態に制御するか否かを決定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、第1識別情報の可変表示または第2識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

本発明は、処理を共通化することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0011】

本発明による遊技機は、第1識別情報の可変表示または第2識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、未だ開始されていない第1識別情報の可変表示について、保留記憶として記憶する第1保留記憶手段と、未だ開始されていない第2識別情報の可変表示について、保留記憶として記憶する第2保留記憶手段と、第1識別情報の可変表示または第2識別情報の可変表示を開始するときに、第1保留記憶手段または第2保留記憶手段に記憶された保留記憶に対応したデータを共通記憶領域に記憶させる記憶制御手段と、有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS62，S63を実行する部分）とを備え、前記決定手段は、第1識別情報の可変表示を行う場合と第2識別情報の可変表示を行う場合とで、同じ割合により前記有利状態に制御するか否かを決定することを特徴とする。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0012】

請求項1に記載された遊技機では、処理を共通化することができる。